

目次

第1章	はじめに	6
I	埼玉県生物多様性を守る	6
II	生物多様性をめぐる国内外の動き	7
1	生物の多様性に関する条約	7
2	生物多様性条約締約国会議	7
3	生物多様性国家戦略	7
	(1) 生物多様性国家戦略 2023-2030 が掲げる課題	7
III	生物多様性の法制度	12
1	生物多様性基本法	12
2	生物多様性地域連携促進法	12
IV	埼玉県生物多様性保全戦略とは	13
1	趣旨	13
2	位置付け	13
3	期間	13
4	推進体制	14
5	進行管理	14
第2章	生物多様性とその危機	15
I	生物多様性の3つのレベル	15
1	生態系の多様性	15
2	種の多様性	15
3	遺伝子の多様性	15
II	生態系サービスとは	16
III	生物多様性の危機	17
1	第1の危機（開発などの人間活動による危機）	17
2	第2の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）	17
3	第3の危機（人間により持ち込まれたものによる危機）	18
4	第4の危機（気候変動による危機）	18
5	「4つの危機」の背後にある間接的な要因	18
第3章	埼玉県の生物多様性をとりまく状況	20
I	自然環境の現況	20
1	位置及び面積	20
2	地勢	21
3	気候	21
4	植生	22
5	植物	24
6	動物	24

7 特定外来生物	25
II 土地利用等の動向と現況	27
1 人口及び土地利用の動向	27
2 農地	28
3 森林	29
4 水面・河川・水路	30
III 地域ごとの生物多様性の現況	31
1 山地	31
2 丘陵地～低地	32
3 市街地	33
IV 生物多様性に対する県民意識の現況	35
V 県戦略（2018（平成30）年2月策定）の成果と課題	36
VI 県で取り組むべき主な課題	39
第4章 ネイチャーポジティブの実現に向けて	41
I 目指す将来像と施策展開の方向性	41
II 横断的・基盤的戦略	43
1 横断的・基盤的戦略① 生態系の健全性の回復	43
（1）現状・課題	43
（2）目指す将来像	43
（3）主な取組	44
ア 「保護地域以外で生物多様性保全に資する地域（OECM）」等の取組の推進、支援	44
イ 希少野生動植物の保全	46
ウ 外来生物対策	47
エ 野生鳥獣の適正な保護管理	50
オ 生態系に配慮した持続可能な農業の推進	53
2 横断的・基盤的戦略② 生物多様性保全に係る取組を支える基盤整備	55
（1）現状・課題	55
（2）目指す将来像	55
（3）主な取組	56
ア 動植物に関する情報の収集・管理・発信	56
イ 多様な主体と協働した保全活動の促進	58
ウ 普及啓発・担い手育成	60
エ SDGs官民連携の推進	66
III 生態系エリア別戦略	68
1 生態系エリア別戦略① 多面的機能を発揮する森林の豊かな環境を守り、育てる	68
（1）現状・課題	68
（2）目指す将来像	68
（3）主な取組	68
ア 多様な森林づくりの推進	68
イ 野生鳥獣の個体数管理による森林生態系への被害防止	69

ウ 森林生態系の保護の推進	70
2 生態系エリア別戦略② 里地里山の多様な生態系ネットワークを形成する	71
(1) 現状・課題	71
(2) 目指す将来像	71
(3) 主な取組	71
ア 里地里山整備の促進による生物多様性の向上	71
イ 緑の保全の推進	73
3 生態系エリア別戦略③ 多様な水域が有機的に結びついた生態系ネットワークを形成する	75
(1) 現状・課題	75
(2) 目指す将来像	75
(3) 主な取組	76
ア 多自然川づくりの推進（恵み豊かな川との共生）	76
イ 湿地生態系保全の推進	80
ウ 生態系に配慮した持続可能な水田耕作の推進	81
4 生態系エリア別戦略④ 人と自然が共生する都市をつくる	83
(1) 現状・課題	83
(2) 目指す将来像	83
(3) 主な取組	83
ア 身近な緑の創出の促進	83
イ 生物多様性に配慮した都市公園の整備による緑の創出	84
ウ 緑の保全の推進【再掲】	86
エ 都市化に伴う野生鳥獣の適正な保護管理	86
第5章 各主体に求められる役割	87
指標一覧	91
生物多様性国家戦略 2023-2030 と県戦略の対照表	93
用語集	95
埼玉県生物多様性保全戦略（2024（令和6）年度～2031（令和13）年度）策定の経緯	102

<コラム>

コラム1：生物多様性と農産物	16
コラム2：生物多様性と気候変動	19
コラム3：30by30	40
コラム4：自然共生サイト	45
コラム5：外来生物対策～被害を増やさないために～	48
コラム6：アカミミガメとアメリカザリガニ	49
コラム7：ワンヘルス～人、動物、環境の健康はひとつ～	52
コラム8：今すぐ実践！生物多様性を守るための5つのアクション～MY行動宣言～	64
コラム9：自然にふれよう！自然を学ぼう！	65

コラム 10：埼玉県SDGs 官民連携プラットフォーム「埼玉県の豊かな水とみどりを守り育む」分科会	67
コラム 11：公益財団法人トトロのふるさと基金の取組～ナショナル・トラストで守る「トトロの森」～	72
コラム 12：緑のトラスト運動	74
コラム 13：NbS (Nature-based Solutions)	78
コラム 14：河川や水辺におけるグリーンインフラの推進	79
コラム 15：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の取組～荒川太郎右衛門地区の自然再生事業～	80
コラム 16：生物多様性の場としての田んぼの役割	81
コラム 17：鴻巣市の取組～コウノトリの舞う魅力的な地域づくり～	82
コラム 18：春日部夢の森公園	85
コラム 19：身近にある！生物多様性を守るために私たち一人一人ができること	90

埼玉県生物多様性保全戦略（2024(令和6)～2031(令和13)年度）の全体像

- 県戦略は、生物多様性基本法第13条第1項に基づく、埼玉県の区域内における生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画（地域戦略）です。
- ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向けて、県の取組の大枠を示しています。
- 県戦略に基づき、更に別の計画を定める場合も含め、具体的な対策は個別事項ごとに推進していきます。

第1章 はじめに

- 1 埼玉県の生物多様性を守る必要性
- 2 生物多様性をめぐる国内外の動き
- 3 生物多様性の法制度
- 4 県戦略の位置付け等

第2章 生物多様性とその危機

- 1 生物多様性の3つのレベル
- 2 生態系サービスとは
- 3 生物多様性の危機

第3章 埼玉県の状況

- 1 自然環境の現況
- 2 土地利用の動向と現況
- 3 地域ごとの生物多様性の現況
- 4 生物多様性に関する県民意識の現況
- 5 前戦略の成果と課題
- 6 県で取り組むべき主な課題

第4章 ネイチャーポジティブの実現に向けて

1 目指す将来像（ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現）と施策展開の方向性

2 横断的・基盤的戦略

① 生態系の健全性の回復

- (1)現状・課題
- (2)目指す将来像
- (3)主な取組

② 生物多様性保全に係る取組を支える基盤整備

- (1)現状・課題
- (2)目指す将来像
- (3)主な取組

3 生態系エリア別戦略

① 多面的機能を発揮する森林の豊かな環境を守り、育てる

- (1)現状・課題
- (2)目指す将来像
- (3)主な取組

② 里地里山の多様な生態系ネットワークを形成する

- (1)現状・課題
- (2)目指す将来像
- (3)主な取組

③ 多様な水域が有機的に結びついた生態系ネットワークを形成する

- (1)現状・課題
- (2)目指す将来像
- (3)主な取組

④ 人と自然が共生する都市をつくる

- (1)現状・課題
- (2)目指す将来像
- (3)主な取組

第5章 各主体に求められる役割